

7月26日～28日まで、三日間にわたって行われた体験保育。今年も県内外の保育関係の方や、一般の親子の方までたくさんの方々が参加していただき、無事に終えることができました。そして参加者の皆様からたくさん励ましのお言葉を頂きました。その一部をご紹介します。

さくらさくらんぼ保育に興味があり、見学させていただきました。子どもにとってよいものを取り入れ、保育士全員が同じやり方で保育している姿がすてきだと思いました。体に良い給食もとても魅力的です。テレビ・スマートフォン等、周りに流されず、自分の子育てをしていきたいと思います。とても良い時間を過ごせました。ありがとうございました。

(市外・親子参加)



この度、体験保育にお招きいただき、初めての参加させていただきました。伝承遊びや給食等、園児と過ごす時間はとても有意義でした。中でも勉強会でマトリクス表を用いて様々なエピソードを持ち寄った話し合いがとてもユニークで、参考になり印象的でした。また機会があればぜひとも参加したいと思います。

(市内・卒園児親子参加)



楽しかったことは園児と触れ合えたことです。自分の子ども達が小さかった頃を思い出して懐かしく思いました。感心したことは、コスモスの療育で体と心をほぐして朝のモードから活動するモードにチェンジする事です。体は歌を一緒にうたいながら手や足、体の一つ一つの部分を意識させながら動かし、なおかつ負荷をかけながら関節の可動域を広げる・・・というような事を、やっていますすごいなと思いました。

特に抱きしめたり抱っこや抱き留めて、心のモードチェンジが出来て通園できるのかなと思いました。利用者とも じゃんけんなど簡単な事でスキンシップを深めて行きたいと思いました。

(同法人 職員)



先日はお忙しい中心よく迎えて下さりありがとうございました。宮本園長の保育に対する確固たる信念と行動力、そして子どもたちへの想いあるお話を伺い感激しました。しっかりとの方針のもと、園全体を取り組まれていることに園児ひとりひとりを大切に考えていると思いました。「三つ子の魂百まで」という言葉がありますが、大事な幼少期に人生の土台となる健康な心と体を養い、生きる力を育むことの大切さを痛感させられました。親には小学校に入ることが目的ではなく、大人になった時にどんな生活をするのかを目指すことが大切である。と伝えてきましたが、今回子どもとの関わりを見直す良い機会となりました。

給食を子ども達と一緒にいただき、とてもおいしかったです。映画「ALWAYS 三丁目の夕日」のワンシーンを思い出しました。ちゃぶ台に座布団・・・日本の古き佳き慣習がここにあると思いました。手間暇かけた食事を毎日食べている子どもたちは幸せだなあと感じました。参加出来て本当によかったと思いました。

(弘前市 児童発達センター職員)

